佳ちゃんの部屋vol.25 〜多彩な小原さ...

佳ちゃんの部屋へようこそ。今回は企画営業部の小原さんです！歌が上手なことが有名な小原さんですが、そのほかにも大勢の前での司会進行も、ラジオのトークもこなしてしまうマルチな才能の持ち主。今回は学生時代のことから趣味のこと、仕事についてなどをお聞きしました！

名前：小原杏樹
あだ名：あんじゅ、あんちゃん
出身地：高知県
誕生日：3月14日

これまでのこと・趣味のこと

——名前の由来は？

杏の木が家の庭にあって、そこから来てるみたいです。あとは母が、女優の鈴木杏樹さんが好きでっていうのも聞いてます。ちなみに妹は「かりん」って名前なんです。

——特技は歌うこと！カラオケ好きだもんね。

中学高校時代はコーラス部に所属していたこともあって、歌うことが大好きです。大学でも芸術学を専攻していました。

——あとさ、喋りが上手いのは何でなの？

もともとコーラス部の時に舞台に立つことも多くて、人前で自分のことを喋ることもすごく好きだったからですかね。でも、結構準備していくタイプです。なので会社説明会のときでも、その進行の流れを事前にシミュレーションして臨んだり。

——趣味は？

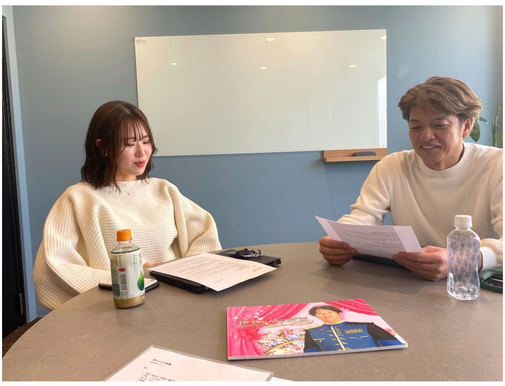
ピラティスです。元々偏頭痛持ちで、ロケハン行っても日に当たるだけで頭痛くなっちゃったり、毎日長時間画面を見るのも辛いほど酷かったんです。でもピラティスを始めてからそういうのが全然なくって。なんなら身長も2センチ伸びたっていう。

——直したい癖や習慣は？

声が小さいこともあります。やっぱり自信の有無は声に出ちゃうんですよね。1、2年目よりかはだいぶ大きく出せるようになってきてるとは思うんですけど、ふと気を抜いちゃったらやっぱり小さくなっちゃうので。不思議なんですけど、歌う時は声を大きく出せるんですよね。自信を持って声を大きくしていきたいです。

——人生のターニングポイントは、コーラス部での経験。やっぱり厳しかったの？

文化部だから厳しくないと思われがちなんですけど、結構強豪校だったので土日もテスト期間も関係なく、長期休みも毎日部活でした。ランニングがあったり、4時間立ちっぱなしで歌ったりっていうのを6年間ずっと続けてました。その分NHKホールとか、1500人ぐらいの前で1人で歌ったりする経験をさせてもらいました。



——ノットに入る前は？

“妹みたいなお姉ちゃん”だったと思います。実際は長女なので、公の場に出たら「しっかりもの」みたいな、「先輩」みたいな立ち位置のことが多くて、誰かのサポートもするし、頼られたりしてました。でも根は自由人だし、心を開いた人には頼りまくるんです。なので私のプライベートを知ってる人からしたら、あんちゃんは本当はこんなんじゃないよって言われます（笑）親とかにも本当どっちがお姉ちゃんわかんないわって言われたり。

——ノットに入って変わったことは？

仕事とプライベートのオンオフがはっきりしたと思います。やっぱり推し活しないとダメですね！「すとぷり」と舞台を推してます。佐藤流司さんという俳優の方を推していて、普通にドラマにも出てて、音楽活動もしてます。声優もやってます。

仕事のこと

——自分にとって、仕事とは？

「たくさんの出会いを与えてくれるもの」ですね。常にリスペクトと感謝を忘れず、人とのつながりを大切にしていきたいなと思っています。
今回、会社のホームページの自分のページを見直してみたんですけど、キャッチコピーに「人にも仕事にも誠実に」って書いてあって、なんか軸は変わってないんだなって思いました！自分が手を挙げた案件には、最後まで責任持って努めたいと思ってます。

——これからやってみたい仕事は？

美容・フィットネス系の仕事をしてみたいです。化粧品検定の資格を取ろうと思っているので、自分の知識を生かしながら、同じ悩みを持った人にアプローチできる仕事をしてみたいです。あとは推しに関わる仕事も、もっとしたいです（笑）

社内でもどんどんピラティス人気が高まってきます！体系に変化が生まれるだけでなく、体調まで良くなるのは嬉しいですね。最近調子がイマイチ…という方は、一度ピラティスにトライしてみてはいかがでしょうか？

次回はプランニング部 / 事業企画室の冨山さんです！お楽しみに。